



曾於市議会だより

第45号

平成28年8月発行

祝

曾於市立

大隅北小学校校舎落成式



6月定例会

平成28年度 一般会計補正予算 2

市政を問う 4

委員会報告 14

校舎落成式での棒踊り（大隅北小）
（P20参照）

発行：鹿児島県曾於市議会 編集：議会広報等調査特別委員会

〒899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方1980 TEL 0986 - 76 - 8816 FAX 0986 - 76 - 8901



6月定例会

ペーパーレス化に向けてのタブレット研修 (H28.7.12 実施)

6月定例会は、6月10日に開会し、6月29日(20日間)までの日程で開かれました。定例会では、平成28年度予算の補正に関するものの他、議案15件、報告3件、承認5件、陳情2件、発議2件を審議・議決しました。

専決処分

☆曾於市国民健康保険
 税条例の一部改正に
 ついて
 (全会一致 承認)

地方税法施行令の一部を改正する政令が平成28年3月31日に公布されたことに伴い、国民健康保険税の基礎課税額52万円を54万円に、後期高齢者支援金等課税額17万円を19万円にそれぞれ改めるものです。
 平成28年4月1日から施行。

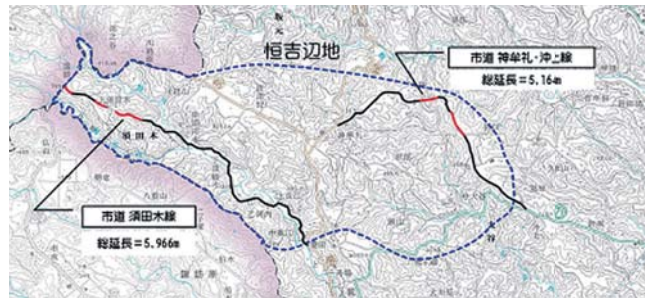
☆平成28年度一般会計
 補正予算(第1号)
 (全会一致 承認)

熊本地震の被災地への復興支援を迅速に行うため、特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がないために熊本地震復興支援事業費341万5千円と、熊本地震被災者支援事業費120万円を専決処分したものです。

総合整備計画

☆辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定
 (全会一致 可決)

合併後から辺地総合計画を策定し、市道の整備を進めてきたが、昨年度5年間の計画が終了した。継続的に整備すべき区間を有することから今年度より平成32年度までの5年間の総合整備計画を新たに策定するものです。



辺地に係る公共的施設の総合整備計画

(単位：千円)

辺地名	事業名及び事業内容	事業費 A	特定財源 B	一般財源 A-B	うち 辺地債
恒吉辺地 (平成28～32年度)	市道2路線 市道 神牟礼・沖上線 L = 900 m / W = 7.0 m	132,700		132,700	132,700
	市道 須田木線 L = 850 m / W = 6.0 m	105,900		105,900	105,900

平成28年度 一般会計補正予算

8億1833万円追加

【条 例】

☆曾於市そお生いき健康センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
(全会一致 可決)

そお生いき健康センター内のシャワー室の新設に伴い、その使用料1回(5分間)当たり100円を規定することに伴う改正。

【予 算】

☆平成28年度一般会計補正予算(第2号)
(全会一致 可決)

歳入については、産地パワーアップ事業費補助金を2億6786万9千円、寄附金は思いやりふるさと寄附金を2億5千万円追加するものである。

歳出については、メルヘン農園(旬)に対する荒茶加工施設等整備の産地パワーアップ事業費補助金を2億6786万9千円、ふるさと寄

附金推進事業を3億9675万円、地域振興住宅建設事業費2138万7千円それぞれ追加するものや人事異動等による職員給の増減が主なものです。

☆平成28年度国民健康保険特別会計補正予算
(全会一致 可決)

今回の補正は、国保保険者標準事務処理システムの委託及び人事異動によるもので、歳入については、国庫支出金を115万8千円追加し、一般会計繰入金を324万5千円減額し、歳出については、一般管理事務費を115万9千円追加し、国民健康保険職員給を324万5千円減額するのが主なものです。

☆平成28年度介護保険特別会計補正予算
(全会一致 可決)

今回の補正は、平成27年度介護給付費等の

精算による償還金及び人事異動等によるもので、歳入については、支払基金交付金を397万8千円、繰入金金を1743万円、繰越金を8439万3千円それぞれ追加し、歳出については、介護保険職員給を1735万8千円、平成27年度分の介護給付費の精算による償還金を6579万2千円、一般会計繰出金を224万2千円それぞれ追加するのが主なものです。

【追加議案】

☆平成28年度一般会計補正予算(第3号)
(全会一致 可決)

岩川高校跡地等の有効な利活用を検討するために、岩川高校跡地等利活用検討委員会を設置し、24万円の謝礼金等を増額するものである。

☆平成28年度一般会計

補正予算(第4号)
(全会一致 可決)

6月19日から曾於市に降り続いた大雨による災害に対するものであり、7737万円を追加して、予算総額、227億3741万2千円とするものである。

【財産の取得】

☆財産の取得
(全会一致 可決)

財産内容
消防ポンプ自動車一台
金額 2214万円
配置先
曾於市消防団
大隅方面隊恒吉分団

【意見書】

☆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2017年予算に係る意見書
(全会一致 採択)

将来を担う子どもたちへの教育は極めて重

要であり、子どもたちが全国どこに住んでも教育の機会均等が担保され、教育水準が維持向上されるように施策を講じる必要があることから、関係機関に意見書を提出するものとする。

☆乳幼児医療費、重度心身障害者医療費等の助成事業における(自動)償還払方式から現物給付方式への移行を求める意見書
(全会一致 可決)

現在、乳幼児医療費や重度心身障害者医療費等に対する助成は、医療機関の窓口で一旦支払い、数か月後に助成される償還払い方式となっている。子育て世帯や重度の障害者を取り巻く環境は、依然として厳しいものがあり、保護者等の医療機関窓口での負担軽減を図り、いつでも安心して必要な医療を受けられるようにする意見書です。

一般質問
10 議員登壇

市政を問う



がけ崩れ危険個所には危険表示を



徳峰 一成議員

あらゆる災害に備えた 防災・災害対策を

市長／熊本地震を教訓としたい

問 熊本地震を教訓に、曾於市の防災、災害対策の強化について、次の点を問いたい。本市の防災対策は、地震、特に火山対策が欠落しているのではないか。

市長 新たな防災計画で補充していきたい。

問 土砂崩れや河川の危険箇所が非常に多い。

しかし危険表示がされていない。

市長 今後表示をした

問 民家の耐震化が遅れている。

市長 実態を調べ、行政としての対策の強化をはかりたい。

問 とくに多くの畜舎の崩壊と疫病が心配される。これらの対策が欠落しているのではないか。

市長 実態調査を含め、今後議論を行なっていくきたい。

問 高齢者、障害者、乳幼児等避難計画が不十分ではないか。

市長 指摘された点は大事であり、取り組んでいきたい。

市民に寄りそう、市営住宅等の整備と改善を

問 市は、大隅・末吉を中心に、市営住宅の廃止と建て替えを計画している。しかし二つの課題。問題がある。

一つは、計画では廃止される戸数が建て替え戸数より多く、入居者の行き場がなくなるという点。

一つは、古くなった住宅には少ない収入や年金収入の入居者が多い。

家賃は数千円の方が多く、建て替え後の新しい住宅の家賃は、5年

間の優遇措置はあっても、その後1万数千円以上になる点である。これでは入居できない不安がある。

このため市長に、次の二点を問いたい。

① 廃止と建て替えは、入居者の納得と理解が必要。

② そのことが難しい場合は、強引に廃止と建て替えは行わないことを基本にすべきではないか。

市長 入居者には生活権があるため、十分に話し合いをして行きたい。

問 市は、市営住宅の建設だけでなく、管理と運営まで民間に任せ

るPFI方式を選択肢に入れていく。しかし営利を目的としない公営住宅の管理と運営に、営利を目的とする民間を入れることは原理的に矛盾と問題が生じるのではないか。



用途廃止が計画されている市営住宅

市長 PFI方式を採用するか、今後勉強をさせていただきたい。

市営住宅の廃止は、
入居者の納得を尊重すべき

ちょっと
ひとりごと

特定健診受診率向上対策について

市長／目標は達成していない



海野 隆平議員

問 平成20年より始まっている特定健診であるが、本市の特定健診の目標達成率を示されたい。

市長 平成26年度、特定健診の目標を52%と設定したが、達成率は42・8%であった。

問 なぜ受診率が、伸びないか。

市長 4月から5月にかけて、特定健診の集団健診を実施している。6月から12月までは、

医療機関を通じて個別健診も行っている。受診率が伸びないのは、自分の健康に対する意識が希薄である。自分の仕事が忙しい。朝が早くめんどろだ。健康には自信がある。等の理由が考えられる。

問 志布志市では、受診率向上を目的として商工会と協同事業を行っているが。

市長 商工会と連携し、協賛する店舗で、特定健診済証を提示すれば割引やポイントの特典を受けられ28年度より実施している。

問 この事業の曾於市への取り組みは。

市長 志布志市の取組



健診風景

みを参考に、平成29年度より実施したい。

自治会未加入問題と今後の取組みについて

問 総務課の自治会加入に関するアンケート調査、特に未加入世帯の実態については。

市長 本年5月1日の自治会加入率は、市全体で73・9%で加入率の低下は、アパート、マンション等の集合住宅や振興住宅における加入率が低い。

又、中山間地域でも、加入率が低下し、自治会離れが進んでいる。

問 今回のアンケートにより総務課内では、どのように検討され、今後の対応については。

市長 地震災害や集中豪雨、竜巻などでの自然災害や新型インフルエンザ、家畜伝染病の発生等に対応するため

コミュニティハンドブック

協働のまちづくりのために

<平成25年3月 改訂版>



五野市

には地域コミュニティが不可欠である。具体的には、自治会を中心に、新たなシステムや枠組みが必要である。

問 広島県の廿日市市と岡山県の玉野市を調査したが、両市とも協働のまちづくり基本条例を制定しており、市民に分かりやすいコミュニティハンドブックを作成して自治会加入の促進に繋げていた。本市への考えは。

市長 本市も基本条例を制定し、地域コミュニティの活性化、振興

策を検討していく。具体的には、

- ① 集合住宅、振興住宅に係るシステムの構築
- ② 集落支援員の設置
- ③ 未加入者、転入者向け自治会加入促進ハンドブックの作成と配布等。

市民の皆様
自治会に
加入しましょう！！

ちょっと
ひとりごと

旧財部南中学校 企業誘致の現状は？

市長／コールセンターは、
6月末で撤退する



泊ヶ山正文議員

問 昨年、4月に2つ目のコールセンター関係の企業誘致活動をしたが、全く営業企業活動が見えない。現状報告を伺う。

市長 平成27年4月1日からトーアテレマーカーケティングたからべ(株)は、創業を開始するとともに、従業員を募集していたが、なかなか従業員が集まらなかった。9月には、センター長が体調不良で退職し、業務運営に支障が生じたため、9月30日より業務を休止しており、

再開予定時期を数回にわたり打診していたが、6月末で撤退する。

曾於高等学校の 支援について

問 曾於高校の学力優秀な人材育成の一つとして、難関大学合格者への奨励金制度は考えられないか。

市長 生徒の向学心を高め、進学への意欲を後押しすることは、大変意義のある制度であるとは考えるが、具体化については現在、検討中である。

問 曾於高校の部活が大会出場する時に市のマイクロバスで送迎対応は、できないか。

市長 県大会以上の大会だけでも、19の部で合計34回出場しており、開催地も様々で、このような状況を考えると対応は難しいと考えている。

農業振興について

問 曾於市農業を守るためには、農業公社設立が必要不可欠だが、今後はどのような対応を考えているか。

市長 今年度、市・J A・県・ナンチク・各農業部会を交えて、農業公社設立に向けた協議を開始し、平成29年度中には農業公社の設立を検討する。

問 畜産経営の分業化を行政が先頭に立ち推進を図るためには、TMRセンターの設立が必要であるが、市長の見解を伺う。

市長 TMRセンターは、畜産農家が飼料を混ぜ合わせる手間が省け、まとめてエサを作ることから、飼料代の節約に繋がる。

今年度、曾於市畜産振興協議会で研修、協議していく。



徳之島のTMRセンター

問 安心して畜産経営ができるように、これまで以上の支援策は考えられないか。

市長 畜産振興協議会の各種補助金及び市単独事業については、引き続き実施し、畜産振興協議会では、今後の畜産振興策について、研修視察等を行い、協議していく。

よい企業がきてくれると
いいな!!

ちょっと
ひとりごと

地域農業振興の農業政策は

市長／農業委員会から
5つの項目について提言を受けた



久長登良男議員

問 有害鳥獣対策は。

市長 地域における一体的な防護柵等の設置は、従来の電気柵設置補助に加え、広範囲の区域をカバーできるような柵の設置補助も実施していく。



有害鳥獣柵

問 畜産農家への支援策は。

市長 畜産振興協議会の各種補助金及び市単独事業を実施していく。

問 食育の推進と畜産地消は。

市長 地元の食材を取り入れ、安全、安心な給食の提供をし、地産地消に努める。

問 畑かん有効利用促進と販売戦略は。

市長 実証データをもとに地域に適した作物導入を検討していく。また、国の6次産業化支援対策等の活用をし、情報提供に努める。

問 後継者及び新規就農者への支援は。

市長 指導農業士会に、技術・経営指導に

ついてお願いをしている。また、ヤングファーマーズクラブに運営補助もしている。

市が開催する大会及びイベントについて

問 どんご大会からどんご祭りに、名称変更したのは何故か。

市長 市民による「曾於市どんご祭り実行委員会」をたちあげ合併10周年記念 第1回曾於市どんご祭りを開催した。

集落水道について

問 集落水道を市で管理運営は考えられないか。

市長 小規模水道の健全な運営を進めていくことが必要であり、今後これらの施設管理や会計事務、検針等について、市がどの程度関わっていただけるか検討する。

一般行政について

問 合併未調整の内容は。

市長 内容は、大隅弥五郎伝説の里を利用した日帰り入浴サービス。航空防除連絡協議会の統合。航空防除事業の農薬散布面積補助金策定。家畜人工受精師会及び家畜商組合団体への事務移管並びに



どんご祭り

統合。土地改良区の統合の6項目が、未調整である。

歴史・伝統は継続する事だ

ちょっと
ひとりごと

曾於市として、新たに 友好都市盟約の締結を

市長／合併後も引き継がれている



迫 杉雄議員

問 鶴岡市との友好都市盟約の締結に向けて、旧大隅町、旧温海町との今日までの交流等歴史について伺いたい。

市長 明治元年の戊辰の役の際、旧温海町関川で旧大隅町と旧温海町の先祖が敵同士で戦った過去がありながらも、これをきっかけに、平成8年に旧大隅町のふるさと歴史探検隊が旧温海町を訪問して、その後も各種記念行事を通じた交流が続いている。



早急な整備が必要な道路

平成13年には「友好都市盟約」が締結され、平成20年に温海町で行なわれた戊辰の役140周年記念事業に参加し、平成25年に笠木小学校を福栄小学校が訪れている。

問 両市とも合併した新市であるため新たに発展的解消で盟約締結をすべきであるが、どのような内容で締結を進めるか。

市長 平成13年に盟約締結していることが合併後も引き継がれており、今後も交流を深めていく。

県有地活用について

問 県境を越えての、広域定住自立圏形成協定の締結は、7年が経過しているが「生活機能の強化政策分野の医療について」都城医師会と夜間救急医療が移転しており、曾於市民の対応はどうであるか。

市長 都城夜間急病センターの診療科については移転前と同様、内科、外科、小児科の3科体制である。平成27年総利用者数は、1万3982人で曾於市からの利用者数は973人で、昨年より825人減少し全体の7%を占めている。

問 都城市境における道路等の交通インフラ整備については、都城市はどの様に対応しているのか。

また、橋野地区における都城市側は、市道の改修。深川地区の大淀川旧河川の排水路における土砂のたい積除去や都城市道「有里・梅北線」の改修は長年の懸案を、都城市側に強く申し入れすべきであるが。

市長 県境の道路については、都城市と曾於市が管理協定を締結し、それぞれ市道の管



草が繁茂する水路

理をしているが、都城市が管理している県境の道路については拡幅等の整備が遅れており、地域住民から改修の要望もあるため、都城市にも早急な整備をお願いしている。

また、末吉町深川の割田地区の旧大淀川河川敷については、鹿児島県と宮崎県の境界が河川の中央部であることから、管理者が分れており、草の繁茂や土砂が堆積した状況にあ

る。
両県の管理者の協議による、早急な対応をお願いしている。

発展的な解消で新たに盟約の締結をすると行政力アップにつながるよな。

ちょっと
ひとりごと

曾於高校を優先的に採用する優遇措置の検討を

市長／公平・公正な規定がある
実力で採用する



九日 克典議員

問 過去5年の市役所への高卒者の受験者と採用者は何名か。
又、市内閉校になった3校の受験者と採用者は。

市長 受験者数は、31名であり、採用は5名である。うち市内の高卒受験者は、3名で採用はない。

問 曾於学校の志願者増に向け市採用試験で来年第1期生が卒業するが、同校の生徒を優先的に採用する優遇措置

置を、検討してはどうか。

市長 昨年検討はしたが、地方公務員法第19条で、「受験の資格を有するすべての国民に対して平等の条件で公開されなければならない。」と規定されており、「募集に当たっては広く門戸を開く必要がある。」

また、同法15条「職員の任用・採用は受験成績・勤務成績その他の能力の実証に基づいて行なわなければならない。」と規定され、本人の適性と能力のみを基準とした「公正・公平な採用選考」を行う必要がある。法律上の制約があり採用枠

は、設けられない。

問 曾於高校は、「笑顔で夢実現に向けて一所懸命に努力する生徒」をめざしている。優遇措置は総合支援対策事業実施条例第3条「夢実現チャレンジ支援事業」には該当しないか。

教育長 進路指導に係る研修事業又は、外部講師の招へい事業であり該当しない。

学校の施設整備の充実について

問 耐震化は完了したが、教室内の空調整備計画は、校舎は非常災害時の「緊急避難所」として、住民の命を守る重要な役割をもっている。災害が発生してからは遅すぎる。早急な取組が必要ではないか。

市長 図書室、校長室、職員室については、約半数の学校が未整備で

笑顔で
夢実現に向けて
一所懸命に
努力する生徒

めざす生徒像

地域に愛される魅力ある学校

笑顔があふれ生徒がいきいきと学習する学校

生徒が夢を実現させるために一生懸命に努力する学校

めざす学校像



冬服



夏服



校章

3つの桜の花びらは、財部高校、末吉高校、岩川高校を表し、桜の花びらが三つ編みのように強く結ばれ、3校の歴史と伝統が受け継がれていく様子を表現し、中心の高の文字の中にあるSOの文字で、曾於高校を示しています。

曾於高校パンフレット

あり、今後順次、整備していく。
普通教室や音楽室、理科室等の特別教室の空調についてはほとんど設置されておらず、今後の設置計画もない。

問 校舎2階部分の、

市長 2階以上の階にトイレがある学校は14校、うち洋式が9校あり残り5校は和式のみであり順次整備していく予定である。

快適な環境が
学力向上につながる

ちょっと
ひとりごと



グラウンドから見た岩川高校



今鶴 治 信議員

岩川高校・財部高校跡地 利用について

市長／岩川高校跡地活用検討委員会
意見を聞く

問 岩川高校跡地に岩川小学校を移転改築する計画の具体的な工程は。

市長 市民参加による岩川高校跡地活用検討委員会を組織して意見をを出していただく。

問 岩川小学校改築の事業費の総額は。

教委総務課長 まだ概算であるが、17億4500万円の総事業費の予定である。

問 その内、高校解体費はいくらか。

市長 約3億円である。

問 財部高校跡地に外国人留学生を受け入れる施設希望があると説明があったが、その後の経過は。

市長 都城市の豊栄グループが、アジアの人達の日本語学校として、県に財部高校利活用の申出があった。市としても豊栄グループのプロジェクト案の提案を受け、県に要望書を提出するとともに豊栄グループと協議を重ねていく。

胡摩地区の 利活用について

問 外山木材が進出を断念したあと、新たな企業誘致の予定は。

市長 現在にいたるまで新たな企業進出の予定はない。

問 企業誘致にこだわらず他の有効利用策を公募すべきではないか。

市長 今のところ企業誘致をめざしている。

問 公園事業を白紙に戻し、企業誘致も進まず農地は荒廃している。

市長としての責任をどう考えているか。

市長 市長として責任をもって跡地利活用に今後も取り組んでいく。

思いやりタクシーについて

問 思いやりタクシーの利用者の少ない路線のデマンド利用はできないか。

市長 デマンドタクシー方式は、事業費が増えて、全国でも成功例が少ない。

思いやりタクシーの路線の見直しや利用者の少ない路線の廃止を含め、今後検討する。

問 市民よりスクールバスの利用はできないか相談があるが、可能か。

市長 スクールバスの運行は、国の助成等があり、規則や制約により学生以外の市民の利



胡摩の荒廃した農地

用は、認められていない。

※注釈・デマンドタクシーとは

自宅や指定の場所から目的地までお客様の希望する時間帯、乗車場所などの要望（デマンド）に、バス並みの安価な料金で応える市民限定の公共交通サービスです。

市長は胡摩地区の
利活用策の責任がある。

ちょっと
ひとりごと

蔵之町廃ビニール処理場について

市長／必要な助言指導を行う



刈合 昌昭議員

問 環境整備の観点から現在の状況について。

市長 昨年4月に廃ビニール破碎洗浄処理施設の建設が計画され、昨年6月に曾於市環境保全推進協議会を開催し、事業者の出席を求め、事業内容の収集等を行った。



地域住民のことを考慮して一日も早い解決を

事業所から「法令を遵守して対応していく。」との説明があり、まず地元住民に対し、しっかりとした説明を行う事が必要である。

問 地域住民は、早い解決を求めているが。

市長 廃ビニール破碎洗浄処理施設については、地元住民にきちんとした説明がされず、大量に廃プラが持ち込まれ、地元の方々の不安を抱き、建設反対が起きている。

今後はこれらに伴う、地元住民への説明会が行われるものと思われるが、市としては、県と情報の共有を図りながら、引き続き、必要な助言、指導を行っていく。

TMRセンターの建設について

問 市長は畜産振興協議会の席で、平成29年度中にはTMRセン

ターの建設を考えていると聞いたが。

市長 JAと十分協議をしながら29年中にはTMRセンター建設を考えている。

問 TMR・コントラクターを利用した場合のメリット・デメリットは。

市長 TMRセンターのメリットは、飼料原料調達コストの低減、成育ステージに応じた良質な混合飼料の給与が可能となり、デメリットは安定した供給農家の確保が必要なため、地域の飼養戸数、頭数が少ないと配送料の増につながる。

※注釈・TMRとは「混合飼料」「完全飼料」などとも呼ばれ、栄養を考えながら「がさ」の多い粗飼料と濃厚飼料を混合し、牛のえさとして与える方法。



コスト削減はTMRセンター

危機管理について

問 南海トラフ地震がいつ発生してもおかしくない。曾於市の地震対策は。

市長 曾於市地域防災計画に掲載されているが、わずか2ページであり、万全でない。現在、防災計画の改訂に着手しており、県の防災計画との整合性を図りつつ、熊本地震を教訓としながら、一般災害対

策編と地震対策編をすみ分けした編成をしたいと考えている。

地域住民の声を聞いて！！

ちょっとひとりと

民生委員の活動費の増額を

市長／研修への支援を前向きに検討したい



宮迫 勝議員

問 民生委員は、原則「無償ボランティア」で、わずかな交通費・通信費などが支払われているのみである。

民生委員の重要性を、考えれば、活動費の増額を、すべきではないか。

市長 民生委員の果たす役割を考えれば、一定の支援が必要だと思う。民生委員は実費で積み立てをして研修を行っている。この研

修に何らかの支援ができないか、前向きに検討したい。

地域振興住宅について

問 平成28年度の申込件数と建設予定はどうか。

市長 申込者数は、末吉18名、大隅9名、財部3名、全体で30名であった。

建設予定地は、深川1戸、櫛1戸、菅牟田1戸、大隅北2戸、大隅南1戸、財部南1戸、中谷1戸、全体で8戸である。

問 入居者の選定方法と基準を述べよ。

市長 ①地域性 ②子どもの人数 ③世帯員の人数 ④小学生の有無 ⑤未就学児の年齢等の採点を積み上げて順位決定を行い選定している。

問 入居者の連帯保証

人を市内在住者2人とするのはきついものがある。見直しを。

市長 柔軟に対応したい。

コミュニティFMについて

問 難聴地域の対策と方法は。

市長 中継局の移転及び電波の出力増を検討している。それ以外は戸別アンテナ設置で対応したい。

問 終了予定はいつか。

市長 12月までには、終わらせたい。

問 パーソナリティの、フリースタッフの雇用形態は。

市長 職種ごとの一時間当たりの報酬額に基づき、個人事業主契約を結んでいる。

問 社会保険もない自



湯ったり野んびり、たからべ温泉

己責任的な働き方は良くない。若者が、希望を持って働けるように正社員化すべきだ。

市長 長く働いてもらうのは、当たり前である。検討したい。

財部温泉センターについて

問 財部温泉センターは、4月より3名の欠員である。夕方から夜10時まで女性スタッフ2人での対応である。お客様からの苦情もある。スタッフも大変な思いで勤務している。

早急に改善すべきではないか。

市長 夜間帯に女性スタッフ2人だけというのは問題があると思う。男性職員を入れるように対応したい。

温泉従業員の明るい笑顔があってこそ接客アップになります
ちょっとひとりと



曾於市を元気に、そおグッドFM

新地公園グラウンドゴルフ場の整備状況は

市長／オープン時期は未定である。



岩水 豊議員

問 当初計画通りに、事業は進んでいるか。

市長 当初1億3千500万円を予定していたが、1億6千636万円に増えている。

問 当初計画が、ずさ



グラウンド中央の未買収地

市長 予算の増額については、申し訳なく思う。

問 用地取得は計画通り進んでいるか。

市長 取得できない土地があり、未だめどはたっていない。

末吉地区のフラワーパーク等の建設事業跡地の現状は

問 企業誘致の状況は

市長 現在、企業誘致活動はしていない。

コミュニティFM放送について 難聴地域の現状は

問 難聴地域の現状は

市長 大隅町月野や荒谷、末吉及び財部の周辺部においては、受信状況は良くないと予想しており、戸別アンテナを設置する計画である。岩川市街地、財部市街地については受信状態が悪く今回の補正

予算で、解決する予定である。大きな負担が発生したことには、大変申し訳なく思っている。

市営住宅など 公共施設の更新について

問 建替計画は

市長 大隅の桜ヶ丘団地を平成30年度から建て替える計画である。大隅支所庁舎は、耐震診断の結果を踏まえ、今後建て替えに向けて検討を進める。

問 民間資金の活用による、公共施設の整備方法のPFI方式を、活用することで、財政負担の平準化効果があるが、活用の考えはないか。

市長 市民にプラスになるので、桜ヶ丘団地建て替えを検討したい。



建替予定の桜ヶ丘住宅

ラジオをFM87.4MHzに合わせてみませんか。そおエフエムは楽しい。

ちょっとひとりごと

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、6月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(山田義盛委員長)

所管事務調査

○広島県廿日市市

(調査事項)

自治会加入促進と自治会振興について

廿日市市では、新たな転入者には、「自治会に加入しましょう」「あなたの自治会は○です」と書かれたチラシを配り、側面的な支援を行っている。また、「町内会・自治会活動Q&A」というハンドブックを作成



広島県廿日市市にて

して、自治会に役立つ制度・補助金の紹介や、自治会役員のなり手がない場合の助言等、自治会振興の支援を行っている。

○岡山県玉野市

(調査事項)

自治会加入促進と自治会振興について

玉野市では、夏祭りや敬老会、防犯パトロール、高齢者などへの福祉活動、公園・道路などの清掃活動は、町内会や自治会を中心に行っている。市はこれらの活動を支援するためのメニューが書かれた『コミュニティハンドブック』を作成し配布している。ハンドブックは自治会支援だけではないと思う。

曾於市でも市民と市役所をつなぐ役割を持った、便利帳的なもの

ンドブックの必要性を感じた。

☆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

問 事業内容は。

答 大隅町の市道神牟礼・沖上線と、市道須田木線の2路線を、平成28年度から32年度にかけて道路改良を行うものである。

問 なぜ幅員6mと7mがあるのか。

答 市道須田木線の幅員6mは、幅員を狭くし延長を伸ばして、早く道路改良を終わらせたい。市道神牟礼・沖上線の幅員7mは、大型農業機械の車両等の通行が多いためである。

☆平成28年度一般会計補正予算について(所管分)

問 財部支所庁舎の耐

震診断・補強計画作成があるが、それぞれの築年数と耐用年数は。

答 財部支所が築50年、本庁舎が34年である。鉄筋コンクリート造りの耐用年数は60年である。

問 耐震補強工事をすれば耐用年数は伸びるのか。

答 耐震補強工事後の耐用年数は伸びるが、天井や壁等は別途改良工事が必要である。

問 企画課の市営放送及び自治会放送管理費の内容は。

答 コミュニティFM放送の難聴対策に期間を要するために、6月末で終了予定であった財部地域のオフトーク通信を、12月まで延長する回線使用料である。

問 FM放送の難聴地域の対策と方法は。

答 中継所アンテナの改修や移設、電波の出力増を検討している。それ以外は戸別アンテナの設置で対応したい。

問 岩川高校跡地等利用検討委員会の内容は。

答 岩川小・大隅中PTA代表、教職員代表、岩川校区公民館代表、商工会、弥五郎どん祭り関係者等委員15名と、識見を有する者1名で、3回の開催を予定している。

問 識見を有する者とはどんな人か。

答 まちづくりの専門的知識のある方を考えている。

問 委員会の窓口はどこか。

答 委員会の庶務は、大隅地域振興課において処理する。

文教厚生常任委員会

(徳峰一成委員長)

所管事務調査

○埼玉県東松山市

(調査事項)

健康長寿都市・東松山モデル事業について

東松山市は、「毎日一万歩運動」と、「プラス千歩運動」を市民に呼びかけ、ウォーキング主体の健康増進と医療費の抑制に取り組んできた自治体である。

毎年世界各国から数万人が参加し35年以上継続しているウォーキング大会を開催し、ハード面ではウォーキング



佐久総合病院にて

調整死亡率男女とも日本一低い。さらに、老人医療費が47都道府県中44位と低い。

そこには、70年にわたる当病院の継続してきた大きな努力と取り組みを感じた。

本市でも参考にできないかと感じた。

○長野県佐久市・佐久総合病院
(調査事項)
在宅医療、介護の連携について

J A長野厚生連佐久総合病院は、農村医療の先駆けとして大きな実績を上げている。昭和19年開院。故若月俊一医師が先頭に立ち医療チームを組み、病院での医療業務だけでなく、周辺の自治体の農村部に継続して入る医療の取り組みは、住民の健康増進、医療費の抑制に大きな効果を発揮してきた。

長野県は、平均寿命が男女とも日本一、ガンを含めた全死因年齢

設置の方向で対応していきたい。

☆平成28年度
一般会計補正予算
(所管分)

保育所等整備補助事業に769万5千円が計上され、これは国2分の1、市4分の1の補助事業で今回、正心保育園(大隅町)の老朽化による雨漏り等の修繕するものである。

意見 市内の多くの保育施設は雨漏りや老朽化が進んでおり、同様の悩みや問題を抱えているところもあるのではないか。

保育所等整備事業を積極的に活用すべきである。

問 今回シャワー室を設置することになったが、その面積、使用料及び使用時間について

答 シャワー室と更衣室の面積は、それぞれ約1平方メートル。使用料は1回100円コインタイマー式で使用時間は5分間である。

問 シャワー室は女性の利用者のことなど考えると、棚や鏡など設置すべきではないか。

は、特別休暇として給与が支給。その後の育児休業は当該子が3歳に達するまで取得するのが可能。子が1歳になるまでは、市町村共済組合より育児休業手当金の支給がある。

問 学校給食センター管理費の増額について

答 児童数の増加で2学級から3学級となったため、学校給食配送用コンテナ1台分の購入費用である。

問 文化財整備事業費の増額について

答 曾於高校の敷地内に昭和13年に建立された有馬厚軒先生頌徳碑の基礎部修繕費用である。

問 石碑の中位(集石)部分が崩壊の恐れがあり大変危険なため、石碑上部から2段目を残しその下部を撤去し再建立をする計画である。

*有馬厚軒氏は、幕末の末吉に生まれ、末吉で教育の振興に寄与された方である。

意見 石碑前に頌徳碑に関する解説板を、設置したらいいのでは。

陳情書

☆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元、複式学級解消をはかるための2017年度政府予算に係る意見書採択の要請する陳情書(第4号)

本陳情の要旨は、義務教育費の国庫負担が長年にわたりカットされているため、これをもとにもどし教職員を充実して複式学級をはじめとする教育内容の改善を求める内容。本陳情は全会一致で採択。国への意見書提出も全会一致で採択。

建設経済常任委員会

(伊地知厚仁委員長)

所管事務調査

○曾於市地区春季畜産品評会(平成28年4月13日～15日)が曾於地区畜産共進会出品の選考をかねて行われ、出品頭数は大隅39頭、末吉39頭、財部32頭でそれぞれ曾於地区春季畜産共進会への出品牛が選考された。

日)においては1部から4部まで96頭の出品があり末吉出品牛が2部、3部、4部で最優秀賞一席に選ばれた。

○鹿児島県徳之島町(調査事項)

TMRセンターのこれまでの成果

TMR(混合飼料)の建設で、農家の労力負担軽減で経営の安定を図る。

本市においても、高

○曾於地区春季畜産共進会(平成28年5月18



徳之島の畑かん調査

齢化で農家戸数が減少しているので、TMRセンターの取組に期待するものである。

○鹿児島県天城町(調査事項)

徳之島ダムにおける畑かんの状況

干ばつ被害を防止する水を利用、マンガロー農家では作業が楽しくなり10アール400万円の収益がある。水の恵みに感謝しているとのことである。

本市も水利用において今後新たな作物の選定など農家の収益が向上するような取り組みが望まれる。

☆曾於市有住宅条例の一部改正

問 火災により1戸の住宅を用途廃止するが火災保険で建て替えはできないのか。

答 限度額の範囲内で費用が給付されるが、

火災のあった場所になるため入居がなければ無駄になるので慎重に検討したい。

☆財産処分について(マンガロー)

問 大鳥峡のマンガローを無償譲渡するに至った経緯は。

答 バンガローは平成18年度に用途廃止され平成26年度に大鳥峡施設整備検討委員会で撤去が決定され、時価評価額と撤去費を比較した結果、無償譲渡のほうが工事を軽減できるとして決定した。

☆平成28年度一般会計予算補正(所管分)

問 産地パワーアップ事業の概要について

答 事業主体は、メルヘン農園(有)で、荒茶加工施設の製茶工場を建



新地公園用地

参加している。

問 新地公園の追加取得する駐車場用地の概要について。

答 追加取得する用地では、駐車台数47台でグラウンドゴルフ場全体では112台、生きいき健康センター側も含めると378台となる。グラウンドゴルフコースの段差については、車の乗り入れも考慮しながら現在より低くするよう検討している。

問 思いやりふるさと寄附金広報旅費内容について

答 ふるさと納税を運営する会社が開催する数万人規模のイベントがあり全国の自治体が集まり、返礼品の紹介が行われる。本市も特産品宣伝と売り込みに

平成28年度 議会報告会開催

議会運営委員会 大川原 主税委員長



報告会会場

曾於市議会では、4月24日（日）午後2時から議会報告会を3会場（大隅・末吉・財部 各中央公民館）で開催しました。この報告会は、市政の課題と議会の活動状況などを市民に報告し、活動または、声を聞いて、今後の議会活動に活かすため実施するものです。昨年より、事前質問状を配布したところ、9件の質問状が提出され、回答書を配布しました。当日は、あいにく雨天となりましたが、大隅会

場15人（男14人・女1人）末吉会場9人（男8人・女1人）財部会場6人（男6人・女0人）の参加があり市政全般について活発な意見が出されました。

事前質問状の一部抜粋

質問 岩川高校跡地については、岩川小学校を移転するという方向で進み、岩川地区の発展に資することになり、喜ばしいことです。

一方財部高校跡地は、全く計画がないようです。何らかの提案はされているのか。

回答 現在、岩川高校跡地は副市長が窓口となり県と協議中である。また、財部選出の議員で財部高校跡地利用について勉強会を行ったところである。

質問 どのような理由で事前質問状を提出す

るようになったか。

回答 議会運営委員会です。所管事務調査に行き研修先の市が事前質問状形式にされていたので、本議会においても平成27年度より実施している。

また、難しい質問があった場合等に的確な回答をするため。

主な質疑や意見

意見 子ども医療費の無料化について、現在医療費は立て替え払いの制度になっているが、窓口で無料にすることはできないか。

回答 窓口立替払いは、九州でも鹿児島、沖縄だけである。県の対応で改善できるので、議会も強く県に要望してまいります。



報告会のアンケートより

※一部抜粋

● 議会報告会への参加者が少ないので、ひと工夫して参加者を増やして頂きたい。（若い人の参加者が多くなるようにお願いします。）

● 自治会への加入者の減少に対する対策を何か方策はないものか？

● 未加入者からも消防後援会や福祉協議会等の徴収も行うべきではないのか？自治会だけに頼るのは、おかしいのでは？

● 全市民が応益は受けるわけだから：

● 弥五郎の里の遊具のある所には、日曜等大勢の親・子どもがきておりますが、休憩の出来る場所が1ヶ所（アズマ屋）しかなく、もう1ヶ所程造って欲しい。● 議会報告が長い。

● 意見を言う場が少ない。● 時間が短かった。

まとめ

以上のような質問や意見等がありました。6月定例会では、このようなご意見等を踏まえ、議員が一般質問をしました。

また、報告会では、多くの貴重なご意見等いただきましたので、今後の、議会活動に活かしてまいります。

参加くださった皆様、お忙しい中、誠にありがとうございました。



平成 27 年度 政務活動費報告

会派名	自民 さくら会	誠和会	日本共産党	無会派	計
	9人	4人	2人	1人	16人
所属議員	久長登良男 海野 隆平 大川原主税 大川内富男 九日 克典 今鶴 治信 上村 龍生 澁合 昌昭 岩水 豊	迫 杉雄 山田 義盛 原田賢一郎 伊地知厚仁	徳峰 一成 宮迫 勝	谷口 義則	

交付額 (単位：円)	1,080,000	480,000	240,000	120,000	1,920,000
自己負担額	3,756	0	0	0	3,756
収入合計	1,083,756	480,000	240,000	120,000	1,893,756

内 訳	調査研究費	170,970	91,505	0	0	262,475
	研修費	63,606	0	0	0	63,606
	広報費	819,180	351,530	154,904	0	1,325,614
	資料購入費	0	0	14,580	0	14,580
支出合計		1,053,756	443,035	169,484	0	1,666,275

精算額	30,000	36,965	70,516	120,000	257,481
-----	--------	--------	--------	---------	---------

※政務活動費は、曾於市議会議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。
 ※平成 26 年 4 月より政務活動費を 1 人当たり年額 12 万円交付を受け、年度末に収支報告書を提出し残額は返納します。
 なお、無所属自由クラブ及び故坂口幸夫議員は、政務活動費の請求はありませんでした。

全国議員表彰を受賞

全国市議会議長会より、5名の議員が表彰され表彰状の伝達が行なわれました。

10年表彰



土屋 健一議員
(市議：10年4月)

15年表彰



谷口 義則議員
(町議：17年10月 市議：6年9月)



八木 秋博議員
(市議：10年4月)



久長 登良男議員
(町議：10年2月 市議：10年4月)

※全国市議会議長会議員表彰は、10年以上市議会議員の職にある者が対象。
町議会議員の勤続年数は、2分の1を市議会の継続年数に加算します。
(平成28年4月現在)



海野 隆平議員
(町議：10年2月 市議：10年4月)

9月定例会の予定

9月2日	開	会
9月6～8日	一般質問	
9月27日	閉	会



●議会をライブ中継しています!●

曾於市議会では、インターネットによるライブ中継と録画放送を行っております。
映像は曾於市のホームページより、「議会映像配信」のボタンをクリックしてお入りください。

<http://www.soo-city.stream.jfit.co.jp/>



曽於市へようこそ



～市内の地域振興住宅へお住まいのご家族を紹介します～

友久さんのご両親は、5年前にお母さんの実家がある財部へUターンされました。ご両親から、地域振興住宅のことを聞いた友久さんと理絵さんは、「子育てをするなら田舎で」と申し込みをされ、今年の4月に入居されました。

生まれも育ちも大阪のお二人は、「周囲の方が優しく接してくださり、とてもうれしいです」と喜んでおられました。

友久さんは、「農業の仕事がしたい」ということです。希望が叶いますように。



(宮迫)

小野	友久さん (40歳)
	理絵さん (35歳)
	彩華ちゃん (7歳)
	翔太くん (6歳)
	春華ちゃん (2歳)

大隅北小学校は、昭和39年に、折田小学校と坂元小学校が統合した歴史があり今回、木材をふんだんにいかした、待望の立派な2階建て校舎が、完成し、落成式がおこなわれました。



表紙によせて

編集後記

子どもたちは、夏休みで楽しく過ごしているようです。

日焼けした顔が、たくましさを感じます。

六月灯、夏祭り、キャンプ、スポーツ少年団等々、一年で一番成長する時期です。

親は、子どものために奮闘する日々でしょう。過ぎてしまえば、いい思い出になります。

夏休みも残り少なくなりました。

二期期になれば、生活のリズムを普段通りにしなければなりません。「早寝、早起き、朝ごはん」そろそろ規則正しくしていきましょう。

私も夜更かしは、ほどほどにしないと、思案中です。

(岩水)

お詫び

5月発行の議会だより第44号、3ページの二段目、「平成28年度曾於市一般会計予算」中の最終行に、「219億1500万円」とありましたが、「54万1千円」減額、修正可決されたもので、「219億1445万9千円」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。



議会広報等調査特別委員会

委員長	上村 龍生
副委員長	岩水 豊
委員	今鶴 治信
〃	宮迫 昌昭
〃	迫 合勝
〃	杉雄
発行責任者	原田賢一郎